

第9回豚コレラ撲滅全国検討委員会に関する概要について（暫定版）

- 1 日 時：平成17年6月15日（水）13：00～16：00
- 2 場 所：農林水産省共用第1会議室
- 3 出席者：学識経験者（豚コレラ撲滅技術検討会委員）、都道府県（11県）、
養豚関係団体（4団体）、その他関係機関・団体
- 4 概 要：
事務局から豚コレラ撲滅対策の進捗状況と今後の対応について説明後、委員から以下のような意見等があった。

【都道府県】

- ・平成12年10月の全国的なワクチン原則中止に併せ、県内でも全面中止に至ったが、知事の許可によりワクチン接種を継続している県もあり、生産者から不満の声も上がっている。原則中止から5年近くが経過し、全国的な全面中止に向けて、国が強いリーダーシップを発揮すべき。
- ・生産者との意見交換等によりワクチン中止に理解を求めているところであるが、生産者個々の考え方があり、全面中止に至っていない。原則中止・一部継続という2つの制度が混在しているのは防疫上好ましくなく、中止のメリットや継続のデメリットを明確にし、国が全国統一的に取り組むべき。

【養豚関係団体】

- ・食の安全が求められる中で、衛生レベルの向上、疾病をひとつでも減らしていく取組みが必要。デンマークやアメリカでは撲滅に成功し、オーエスキー病の清浄化も間近。これからは撲滅できる疾病はひとつでも清浄化していく科学の競争。
- ・飼養密度の高い地域でいったん発生すると、大変な被害。国家防疫と言っているが、口蹄疫、BSE、高病原性鳥インフルエンザと立て続けに発生し、発生農場が大きな犠牲を払った事例もあった。万一の際に、誰がどう責任を取るのか、明らかにすべき。
- ・現在、我が国養豚の生産性は低下しており、多くのひね豚が持ち込まれていると畜場もあり、このような状況でひね豚の中に豚コレラに感染しているものがいれば、と畜場を介したまん延も懸念。
- ・万一発生した場合には、倒産するしかないといった生産者の意見もあるが、そもそも養豚はさまざまなリスクの中で経営している。この撲滅対策については、これまで生産者同士で意見の対立もあったが、生産者同士が一致団結して、他の疾病対策も含め建設的に物事を進めていくべきではないか。

【学識経験者】

- ・平成5年以降、我が国で発生がないということから、豚の生産サイクルを考えれば、我が国に豚コレラウイルスが存在する可能性は極めて低いと言える。
- ・生ワクチンはウイルスを弱毒化し安全性が確保されたものであるが、生きたウイルスであり、ウイルスが変異しひとり歩きする危険性もゼロではなく、その意味でも、一部で接種継続という現在の状況は、防疫上最も好ましくなく、全面接種か全面中止かどちらか。
- ・防疫の基本は、発生が多いときはワクチンで予防的にコントロールし、清浄化に向け

ては摘発とう汰を基本とし、状況に応じた緊急ワクチンが有効。海外での事例をみても、ワクチン接種には、万一発生があると発見が遅れる、ワクチンが万能であるといった誤った安心感を与える等のデメリットがある。

- ・科学的なことはもちろんだが、今後の我が国の養豚を考えた場合、品質や安全性に特化していくことが必要。そのためには現在ある疾病をひとつでも撲滅することが重要であり、豚コレラの清浄化を早期に達成し、次なる疾病対策に進むことが重要。

事務局より、本日の意見を踏まえ、今後、全国統一的な防疫対策を行うことについて、早期に検討する旨説明した。

第9回豚コレラ撲滅全国検討委員会出席者名簿

【学識経験者】

岡本雄平	社団法人日本動物用医薬品協会理事長
熊谷哲夫	元東京農工大学教授
清水悠紀臣	元北海道大学教授
清水実嗣	前独立行政法人農業・生物系特定産業技術研究機構 動物衛生研究所所長
諏訪綱雄	元茨城県家畜保健衛生所長
古内進	社団法人日本動物用医薬品協会理事

【養豚関係団体】

川口昭平	社団法人日本養豚協会専務理事
打田治美	日本養豚経営者連絡協議会事務局長
姥貝弘之	全国農業協同組合連合会畜産生産部推進課主任調査役
林邦雄	全国養豚経営者会議副会長

【家畜衛生関係団体】

大森伸男	社団法人日本獣医師会専務理事
米村弘	社団法人全国家畜畜産物衛生指導協会防疫部長

【都道府県】

池内俊久	兵庫県農林水産部農林水産局畜産課主査
石田秀史	新潟県農林水産部畜産課副参事
久保田和弘	宮崎県農政水産部畜産課衛生防疫担当副主幹
小泉勉	千葉県農林水産部畜産課衛生環境推進室副主幹
小林茂	三重県農水商工部農水産物安全室家畜衛生グループリーダー
高橋勝一	宮城県産業経済部技術副参事
田中宏和	茨城県農林水産部畜産課課長補佐
中村成宗	青森県農林水産部畜産課衛生・安全グループ総括主査
矢田恭一	島根県農林水産部農畜産振興課食料安全推進室主幹
山崎義和	愛媛県農林水産部農業振興局畜産課家畜衛生係長
山下静男	鹿児島県農政部畜産課衛生環境係長

【関係機関・農林水産省】

山田俊治	独立行政法人農業・生物系特定産業技術研究機構 動物衛生研究所海外病研究部病原研究室長
伊藤治	農林水産省動物医薬品検査所検査第一部長
野々宮孝	農林水産省動物検疫所検疫部動物検疫課長
山本実	農林水産省動物医薬品検査所企画連絡室長
伊地知俊一	農林水産省大臣官房参事官(兼消費・安全局)
釘田博文	農林水産省消費・安全局衛生管理課長
小倉弘明	農林水産省消費・安全局衛生管理課課長補佐(総務班)
杉崎知己	農林水産省消費・安全局衛生管理課課長補佐(生産安全班)
石川清康	農林水産省消費・安全局衛生管理課課長補佐(国内防疫班)

(敬称略、五十音順)